

伊万里 市議会だより

第19号

平成18年
(2006年)

10月



大川内保育園（大川内町）



明星太鼓（東山代町）

一般会計 9月補正額：4億1,239万円

予算総額：199億1,565万円

(対前年度同期 +5億9,104万円、+3.1%)

平成18年伊万里市議会第3回定例会 会期日程

9月

開議時刻 午前10時

日	種別	内容
4(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等26件 …… 一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
6(水)	本会議	議案等に対する質疑
7(木)	本会議	議案等に対する質疑 決議案の上程(企業会計決算審査特委設置) 決議案の提案理由説明 決議案に対する質疑 決議案の討論、採決 特別委員会委員の選任 特別委員会正副委員長の互選 議案の常任委員会及び特別委員会付託
8(金)	休会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致対策)
11(月)	休会	特別委員会(地域医療整備対策)
12(火)	本会議	一般市政に対する質問
13(水)	本会議	一般市政に対する質問
14(木)	本会議	一般市政に対する質問
15(金)	休会	常任委員会
19(火)	休会	常任委員会
20(水)	休会	正副委員長会
22(金)	本会議	市長提出追加議案等12件 …… 上程 市長提出追加議案等の提案理由説明 市長提出追加議案に対する質疑 決議案1件、意見書2件 …… 上程 決議案等に対する質疑 決議案の討論、採決 議案の特別委員会付託 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 特別委員会中間報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

議会ホットコーナー

埼玉県での痛ましいプール事故を受け、市内小中学校プールの安全対策状況について報告を受けました。(8月17日付け)

排(環)水口蓋の状況	吸い込み防止金具の状況	今後の対策	該当学校数
蓋取り外し可	防止金具設置済	—	9
〃	防止金具仮設置(a)	来年5月本格設置	6
〃	防止金具未設置(b)	〃	6
—	防止金具設置不要(c)	—	1

(a) この日以降にプール使用予定があったため仮設置

(b) 今季の使用は既に終了のため仮設置せず

(c) 排水口の口径が小さいため不要

※小中学校24校中、プール設置は22校(滝野小・中、南波多小・中は共用)



定例会会期日程など

意見書

●「新しい地方分権改革の推進を求める意見書」

●「難病対策の確立を求める意見書」

地方自治法第99条の規定により関係機関に意見書を提出しました。
(本文は、会議録に掲載します)

決算審査特別委員会

● 一般会計・特別会計

◎ 占野秀男、○ 貞方喜延、山崎秀明、樋渡雅純、前田久年、岡口重文、田中啓三、浜野義則

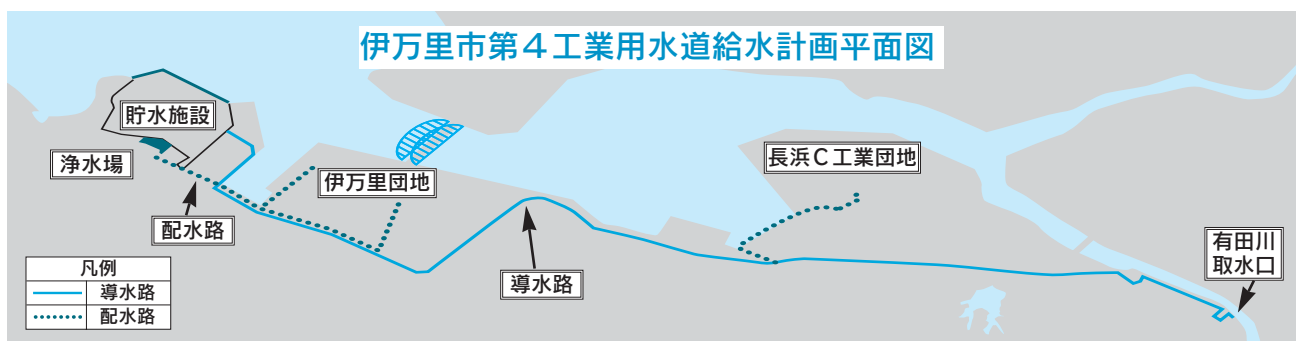
● 企業会計

◎ 岩橋紀行、○ 前田儀三郎、草野讓、山田悟、渡邊英洋、堀良夫、原口弘、満江洋介
※審査日程は議会ホームページに掲載します。

第4工業用水について

(株)SUMCO新工場誘致に伴い、新たな工業用水（第4工水）を開発する計画が進んでいます。市民の皆さんの関心も高いことから、情報共有のために特集記事を組みます。

新工場の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体 300ミリ・シリコンウエハー*の生産 ・平成18（2006）年7月着工、20年4月操業開始予定 ・第1期工事《約500億円》：床面積75,000㎡の工場、月10万枚生産体制 ・第2期工事《約600億円》：月40万枚の生産体制予定 ・新規採用：合計で約720人を予定
第4工水の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・有田川取水口から取水。国道沿いに導水路を通し、久原貯木場跡を閉め切って貯水場を建設 ・工水の確保手段について県と協議の末、複数の可能性の中から、今回の方法を選択 ・専門家による技術的な検討を実施中
建設費用	<ul style="list-style-type: none"> ・総事業費約150億円の見込み （負担割合：国・県30%、市40%と見込んでいたが…） ・国からの補助金：平成19年度補助として5,200万円 ・県90億円、市60億円の負担とすることで協議中
税収試算 （平成19～28年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・法人市民税＋固定資産税＝155億3,500万円 （1年に換算すると 15億5,350万円） ・半島振興法による固定資産税減免措置などによるマイナス分 ＝17億1,300万円 ⇒10年間の市税増加分 約138億2,200万円 ・このうち75%が普通交付税の基本財政収入額に算定 ⇒財政的効果 年間約3億4,555万円程度…（a）
採算見込	<ul style="list-style-type: none"> ◎市の負担 約60億円と仮定すると ・企業債償還（年利率2.7%として） 元利償還金総額 約85億円…（b） ⇒85億（b）÷3.5億（a）≒24年間 ・企業債償還期間：3年据え置き、25年償還 ⇒企業債償還期間内に事業投資額を回収可能
工水使用料予測	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度（給水開始）～28年度…29億8,300万円 ・1年平均 3億7,300万円



総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

委員会に付託されました、議案6件について審査の結果、全議案原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

「消防関係条例」「報酬および費用弁償条例」「公務保障関係条例」「税条例」の一部改正議案4件は、いずれも法律改正に伴い条例の整備を行なうものです。

その他、広域市町村圏組合で実施している電算業務を、平成18年度で終了し、組合を解散するための規約変更についても可決されました。

補正予算(第3号)は、総務費で①市民会館のトイレ1基(女性用)を洋式に改造するための経費②大川内山に計画中の戸栗美術館建設促進するための経費③来年2月に市民会館で開催予定の「宝くじおしゃべり音楽館」開催に要する経費等。

消防費は①消防力の充実強化を図るため、防火衣8着、消防用無線2式、消防用空気呼吸2式の購入費用③松浦町藤川内地区の防火用水槽建設補助金③消防本部のはしご車が導入後10年を経過し不具合が発生しているため、オーバーホールを実施するための経費④日本損害保険協会から高規格救急車(車両本体)の寄贈があり、車両の装備と救急処置用の資機材購入費等の予算が計上されています。



高規格救急車 内部

◎浜野 義則 ○川内 学 黒川 通信 草野 謙
樋渡 雅純 渡邊 英洋 内山 泰宏

文教厚生委員会

★所管 市民部(保健・福祉・環境・人権同和)、教育委員会、市民病院

付託された条例議案4件、補正予算4件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

条例議案4件については、それぞれ法改正に伴い条例の一部を改正するものです。

一般会計補正予算における民生費の主な内容は、障害者自立支援法の施行によるサービスの再編に伴う事業費の組替等を行うとともに、子ども・高齢者・障害者など対象を絞らない地域福祉推進の拠点となる地域共生ステーションの設置を支援する経費520万円。10月からの障害者自立支援法施行に伴い、市で行うことになった地域生活支援事業費809万1千円。

教育費補正の主な内容は、建築基準法改正前に建築された小中学校11校について、耐震診断の優先順位を決める耐震化優先度調査に要する経費880万5千円。

国民健康保険特別会計補正の主な内容は、10月からの出産育児一時金支給額の改定に伴う経費280万円、平成19年度から集合税のコンビニでの収納を開始するためのシステム変更経費42万円。

なお、PFI事業として建設されていた新給食センターは計画どおりに完成し、2学期より小中学校・公立幼稚園へ、おいしい給食を1日6,100食提供しています。

伊万里市障害児発達支援センター「ひまわり園」は、法務局跡地にて9月25日に着工、19年1月末の完成予定です。



学校給食センター 内部

◎堀 良夫 ○盛 泰子 前田 久年 前田 教一
岡口 重文 原口 弘 下平 美代

産業経済委員会

★所管 産業部、農業委員会

本委員会に付託された議案は、条例の一部改正1件と一般会計補正予算1件でありましたが、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。なお9月16日以降の大雨・台風により、農林地及び農業用施設等に多くの被害が生じたので、財源の確保と早期復旧を強く要望しました。

条例改正は、中小企業振興資金の貸付に関するもので、連帯保証人について原則として、個人事業者の場合不要、法人の場合法人代表者のみ要とするものです。

補正の主なものは、農林水産業費では、小規模土地改良事業補助金1,000万円、ため池等整備事業負担金735万円、海岸保全事業負担金400万円、地域水田農業支援緊急整備事業負担金715万5千円、治山一般事業費225万円などです。商工費では、いまりんバス運行事業に14万9千円、観光ボランティアガイド養成事業に10万8千円、災害復旧費では、

農地災害復旧事業費1,211万9千円、農業用施設災害復旧事業費3,826万5千円、林道災害復旧事業費250万5千円などがそれぞれ計上されました。また、次の現地を調査しました。

- ・ 南波多町府招地区（国道202号災害）
- ・ 黒川町畑川内地区（きゅうりハウス災害）
- ・ 東山代町脇野地区（農道及び水路災害）
- ・ 山代町久原水面貯木場（SUMCO関係）



農業用施設等被害 現地調査

◎高木 久彦 ○貞方 喜延 山崎 秀明 山田 悟
笠原 義久 岩橋 紀行 樋渡 伊助

建設委員会

★所管 建設部、水道部

本委員会に付託された議案は、一般議案5件、補正予算3件でしたが、慎重審査の結果、原案のとおり可決、承認すべきものと決定しました。

補正予算の主なものは、道路新設改良事業として1,880万円計上されており、これは、伊万里中部給食センター跡地の一部を活用して公園橋線を拡幅するために、測量設計業務委託と県営事業伊万里駅南口線改良工事に要するための負担金であるとの説明を受けました。

また、利用者の多いファミリーパークで、特に遊具施設付近にトイレがなく不便をおかけしているために、トイレを設置するとの説明を受けました。

定住者促進事業の空き家登録調査等業務委託のための費用や市営住宅の修繕費として、住宅管理費に180万9千円計上されています。

工事請負契約の締結については、現在施工中の水処理施設の機会・電気設備増設工事に伴う中央監視制御装置を新たに設置し、現在稼働中の制御設備の機能更新を行うため、指名競争入札により請負人が決定し、仮契約を結んだため、議会の議決を要するものであるとの説明を受けました。

さらに、水道事業では、現在計画中の伊万里第4工業用水道事業の現状と事業に関する採算について説明を受けました。



国道202号 災害復旧道路（府招上）

◎福田 喜一 ○満江 洋介 島田 布弘 前田儀三郎
占野 秀男 田中 啓三 岩本 盛房

地域医療整備対策調査特別委員会

本委員会は6月9日、9月11日に委員会を開催しました。また、7月25日から3日間、熊本市、荒尾市、小林市の視察を行いましたので、その結果について報告します。

1 新病院整備における協議の経過について

病院統合については、2月社会保険庁へ譲渡協議依頼書提出、6月同庁を訪問し病院譲渡についての協議が行われた。その後も佐賀保険事務局を通じ情報収集と意見交換が行われている。社会保険庁改革関連法案が通常国会で継続審議となったことなどもあり、浦之崎病院の本格的な譲渡協議も秋以降となる見込みである。

2 中核的病院整備基本計画について

中核的病院整備における基本計画策定は佐賀大学・医師会・その他各団体の代表をメンバーとした策定委員会を作り、その計画策定の支援を行うコンサルタントとして5社を指名し企画提案方式により委託業者が決定されている。新病院整備においては、人件費の抑制や診療科目の設定、医師確保や競合する他の中核病院との機能のすみ分けなど厳しい課題は多い。策定計画にあたっては、市民の声、現場の声をよく把握し中核的病院として方向性を明確にしていくよう努められたい。

3 先進地視察について

(1) 熊本県熊本市（熊本中央病院）

熊本市では病院間の競合が激しく、各病院が生き残りをかけて特色ある病院経営を目指している。病床数361を持つ熊本中央病院では、開業医から紹介を受けた患者のみを受け入れるという、かかりつけ医との病診連携を重視している。①開業医が強く求めない限り市が地域支援病院を作っても意味がない。②医師会立病院という方法もある。③地域医療全体の流れが、大病院・フリーアクセス志向から、病床数を減らし機能分化を重視する方向へ向かっている中、かかりつけ医を念頭におく必要があることを認識した。

(2) 熊本県荒尾市（荒尾市立市民病院）

有明地域のの中核病院として病診連携に力を入れており377の病床をもつ病院である。小

児科・複数の診療科の常勤医師の引き上げで経営を圧迫している。診療に特徴を出さなければ生き残れない。専門性の高い医療、特色のある医療の提供、かかりつけ医との連携が重要であることを認識した。

(3) 宮崎県小林市（小林市立市民病院）

病床数138の病院である。築33年、老朽化のため建替が計画されている。基本計画では診療科目の見直しもなされているが、医師確保は大きな課題となっている。また起債を含めた財源確保は特に自治体病院に対して厳しくなっており、病院建設の厳しさを改めて認識した。



熊本中央病院



荒尾市立市民病院

◎下平 美代 ○前田 久年 樋渡 雅純
川内 学 堀 良夫 高木 久彦
笠原 義久 田中 啓三 浜野 義則

交通網、港湾、企業誘致対策調査特別委員会

1 西九州自動車道整備について

(1) 唐津道路について

唐津市域において、用地買収、北波多ICの工事、松浦川大橋の下部工と上部工及び養母田地区のトンネル工事が着手されている。

伊万里市域においては、谷口IC周辺の設計協議がほぼ終了しているものの一部、地元と協議中である。本年度中に測量、地質調査、設計協議を済ませ、幅枕設置を行いたいとの説明を受けた。

(2) 伊万里道路、松浦道路について

伊万里道路は本年度に市、県の都市計画審議会を経て都市計画道路決定を受け一部測量、地質調査を実施する計画である。伊万里松浦道路は、山代ICから長崎県境までの間について、予備設計、地質調査を実施し設計協議幅枕設置が計画されている。

(3) 伊万里・松浦・平戸市議会 西九州自動車道建設促進協議会について

本年8月28日、佐賀、長崎両県の知事、議会及び国道事務所に対し要望活動を行った。今後は国交省九州地方整備局、国土交通省への要望活動と併せ佐賀、長崎両県選出の国会議員に対し要望する予定である。

2 港湾整備について

七つ島工業団地の水深13m岸壁については平成17年度から事業着手されているが、コンテナ取扱量の増加により、現在の1バースから2バースにするよう計画されており延長260mの岸壁が設置される予定である。

3 企業誘致について

(1) 本年4年から8月までに延べ18社に対し立地勧奨が行われているが特別の成果は上っていない。進出企業の状況については(株)清本鉄工は5月11日に起工式が行われ完成に向け工事が進められている。(株)SUMCOの伊万里団地進出に伴い、ガス、運送など関連企業にも団地内の区画を購入される等の動きが出てきている。

(2) 七つ島港湾施設用地における油槽所問題

8月30日、産業経済委員会と連合審査会を開催し、県の港湾課長を招致し(株)神廣のこれまでの顛末、今後の対応について考え方を聞いた。県としては今後も(株)神廣に対し施設の

撤去、原状回復を要請してゆく、早期解決の認識はあるものの、法的問題等慎重な対応を要するため、期限については明言できないとの説明を受けた。

4 先進地視察について

(1) 宮崎県日向市（東九州自動車道、細島港の整備）

東九州自動車道の早期完成に向け、行政と民間が協力して運動を展開されていた。特に、商工会議所、建設業協会、道づくりを考える女性の会などと建設促進組織を設立し、建設促進決起大会を開催されている。細島港は平成12年には国際化に伴う貨物船の大型化等に対応するため、国・県が整備を進めてきた多目的国際ターミナルが完成し、国際貨物輸送の中核として注目されている。

(2) 福岡県大牟田市（三池港）

平成11年に三池港港湾計画が策定され、公共埠頭整備や航路の浚渫など、三池港の新たな整備に着手されている。港湾振興策やポートセールスなど官民一体となった取り組みが行われていた。



日向市 細島港




大牟田市 三池港

◎前田 教一 ○山田 悟 山崎 秀明
岡口 重文 内山 泰宏 樋渡 伊助
岩本 盛房 満江 洋介 福田 喜一

一 般 質 問

(質問順)

一般質問事項

議員名	質 問 事 項	議員名	質 問 事 項
堀 良夫 (一問一答)	1. 中心市街地（隣接周辺地域を含む）活性化対策について (1) 改正まちづくり3法の概要・趣旨 (2) 旧ダイエー伊万里店の活用策について (3) 伊万里駅周辺の整備計画について	占野 秀男 (一問一答)	1. 伊万里市の財政運営について 2. 市民生活の安全対策について
		草野 譲 (一問一答)	1. 第4工業用水道事業について (1) 工期について (2) 技術的な問題について (3) 財政的な問題について 2. 行財政改革・改善について (1) 行政委員会（公平委員会）の実態について (2) 教育委員会発刊の「伊万里市の教育」について
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 出産育児一時金支払い方法の変更について 2. 福祉行政について (1) 内部障がい者の安心・安全の確保 (2) マタニティマークの活用 3. 市民病院の経営について (1) 健全化への取組みと実績 (2) 増患対策と医師不足への対応 (3) 地域医療との連携 (4) ドクターヘリの活用と実績 (5) 地方公営企業法の全部適用への移行	下平 美代 (一問一答)	1. 障がい者自立支援法の対応について 2. 食育の基本構想と学校栄養教諭の配置について 3. 市主催の各種講演会への市民参加要請について
		渡邊 英洋 (一問一答)	1. 中心市街地活性化について 2. 伊万里ファミリーパーク（いまり夢みさき公園）について 
満江 洋介 (一問一答)	1. カブトガニの展示成果と今後の取組みについて (1) 干潟・水質保全、保安林整備について 2. 観光客の為の市街地整備について (1) 駐車場について (2) 休憩所及び公園整備について 3. 国道204号（瀬戸黒川間）の交通渋滞緩和について		

一般質問を一問一答方式と総括方式の選択制にして以来、10回の議会を数えました。それぞれの議会における内訳は次の通りです。

	質問者数	一問一答	総括
平成16年第2回	14	8	6
3	12	7	5
4	12	8	4
平成17年第1回	13	6	7
2	12	5	7
3	11	9	2
4	17	11	6
平成18年第1回	10	8	2
2	10	6	4
3	7	7	0

★H16年6月議会から、議会改革の一環として、一般質問のやり方を一問一答方式か総括方式かの選択制にしています。持ち時間は60分です。

中心市街地 活性化対策

堀 良夫

質問 地方の市街地は衰退が深刻化している。その解決は喫緊の政策課題として捉えられ、「改正まちづくり三法」が先の国会で成立した。伊万里市における状況は深刻であり早急に中心市街地基本計画の見直し、策定が必要と考えるが。

答弁 産業部長
新たな基本計画について、庁内関係はもとより、商工会議所と協議を始めている。中心市街地活性化には、商業だけではなく本市にとって望ましい都市機能をとどう集約し、賑わいを取り戻すため、改正法による基本計画の必要性は十分に認識しており検討を進めていく。

旧ダイエー伊万里店の活用

質問 これまでの検討状況、所有権者の考えは。

答弁 産業部長
所有者である西肥自動車は、賃貸ではなく、ダイエー跡地及びバスセンターを含めての一括売却の意向である。本市としても、文化施設、福祉施設等の公共施設としての検討を行なっているが建物の老朽化、構造的問題もあり、又、市街地の核となるエリアの活性化を図るためにも、民間での活用も視野に入れ関係者と検討を進めたい。

質問 市長は中心市街地が輝く元気なまちづくりを掲げている。法の改正を受け、この取り組みの市長の所見を伺う。

答弁 市長
都市機能、経済活動の両面からの活性化を図るため、協議会を立ち上げて、どのような施策を展開したらよいか、行政、商工会議所、地元商店街、市民の皆様と共に議論をしていく必要がある。

出産育児一時金 支払い方法の変更

樋渡 雅純

質問 10月より一時金が30万から35万に増額になった。これまで、被保険者に支払われているが、保険者である市町村が病院に直接支払う仕組みへと、手続きの改善も出されている。市の対応について。

答弁 市民部長
課題もあるが、被保険者のサービス向上にもつながり、県内市町村、関係医療機関とも相談し、受領委任払い制度について早い時期に、実施していきたい。

質問 内部障がい者の存在を視覚的に示し、認識と理解を促すものとして、「ハートプラス」マークと言うものがある。理解普及の為に周知徹底を。
答弁 市民部長
全体の障がい者2474人の中で、654人24%を

占め、増加中である。広報・HP・社協を通して広く啓発していく。

市民病院の経営 について

質問 全国の自治体病院の7割近くが赤字経営の中、市民病院も経営診断を受け、健全化の取り組みも進行中である。その効果は。

答弁 理事
診断を受け、①収入の確保、②意識の改革、③病院のビジョン、④患者満足度の向上にむけ進めている。特に満足度調査においてはH15年71%からH17年95%に高まった。

質問 現在の経営手法である公営企業法一部適用から、全部適用に移行する考えは無いのか。
答弁 市長
将来的には管理者を設置して権限を与えていくことは重要。視野に入れて、検討していく。

カプトガニの展示成果と 今後の取り組みについて

満江 洋介

質問 多々良海岸において大型水槽による展示がされ、多くの見学者があつた。又、生棲環境への関心も高かつた。今後の取り組みについて伺う。

答弁 教育長
牧島の方々のご協力に感謝。
県内外から多くの見学者があり、子供たちの姿には感動さえ感じた。今後は、保護基本計画の策定を急ぐと共に、展示館建設に向けての構想構築を図る。

質問 干潟や水質を保全することは山を守ることになるが、保安林の整備状況は。
答弁 産業部長
杉、松の人工林だけでなく里山・雑木林も保安林として指定整備を進めている。

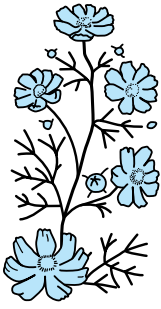
一般質問

観光客のための市街地整備について

質問 観光バス客の昇降が路上でされている、早急に駐車場を確保すべきではないか、又、市街地を展望しやすい城山公園の整備をすべきではないか。

答弁 市長

県外から多くの団体客があり、駐車場については、バスセンターや駅前駐車場周辺を視野に入れて、どのような形の整備が良いか早急に検討して行く。城山公園については個人の所有であるので慎重に対応しながら、町中の史跡や伊万里神社等とのネットワークを図ると共に眺望の良い公園としたい。



伊万里市の財政運営について

占野 秀男

質問 第4工業用水道や市民病院建設、給食センターの支払い国見中建設など大型事業が山積しているが、市の借金はいくらあるのか。

答弁

一般会計の207億円ほか合わせて526億円の借金がある。

質問 第4工水事業150億円のうち国、県が各3割、市が4割負担の計画が、国は5200万円が限度とし、残りは県90億と市60億を負担するというが県とは約束できているのか。

答弁

約束はしていないが話し合っていく。また市民税固定資産税などのほか工水使用料等毎年約9億円が見込めるので運営できると考える。

質問 しかしこの業種は不安定要素もあり25年間順調に行くのか、不安は残る。次に市民病院の建設について、浦ノ崎社会保健病院との統合による新病院の建設予定はいつか。

答弁

平成22年を想定している。

質問 平成21年に有田共立病院が改築され、その後市民病院を作ることになるが、狭い地域に大型の公立病院を2つ作るのは無駄であり運営も無理ではないか。累積赤字8億円は今後増えていくがどうするか。

答弁

共立病院は改築であり内容は変わらない。伊万里は伊万里で救急医療体制をつくりたい。また借金は今後の病院運営の中で解消したい。

第4工業用水道事業について

草野 謙

質問 有田川から余剰水を約10キロメートルの行程でパイプラインを引き、貯木場跡地を閉め切り工事を行い、そこにその余剰水を流し込み、日量約2万5千tの工業用水をSUMCOに供給する事業であり、事業費は約150億円。事業主体は伊万里市である。全ての責任は、本市が負う事になるのか。

答弁 市長

県からの派遣もあり淡水化計画では、県職員が中心的な役割を担っていただいているが、最終的な全ての責任は市が負う事になる。

質問 この事業は、大変難しい事業だと言われ、その一つに工期の問題がある。2～3年の期間内に本当に出来るのか。

答弁 水道部長

工期についても技術的な問題についても、専門的な

アドバイザーを設け、間違いない工法で進めて行く。

質問 技術的な問題も工期の問題も解決出来たとしても、財源の問題がある。事業費約150億円をどう工面するのか。

国に30%の補助金約45億円をお願いし、残りを県と市が賄う計画であるが大丈夫か。

答弁 市長

6月28日知事、副知事、私と共に国に財政支援をお願いに行ったが、結果として5200万円の来年度予算になった。後は県と協議をしていく。古川知事も県としても責任を持つてきちんとした対応をしていくと言う事である。

公平委員会について

質問 行財政改革、改善の中で公平委員会の活動は。

答弁 公平委員会事務局長

会議は、3ヶ月に一回程度。不服申し立ては今の所ない。

一般質問

障がい者の自立支援について

下平 美代

質問 障がい者が地域社会で自立した生活ができるよう支援するのが障がい者自立支援法の目的である。障がいのある人が少しでも自立に近づけるよう手をさしのべるべきと思う。そのために、①就労について ②個人の1割負担 ③地域で生活するための住居。これらについてどのような対応しているか。

答弁 市長

障がい者自立支援法については、全国市長会でもアンケート等を取り早期改正要望が行なわれている。①就労支援は雇用主にもよびかけて行く②行政自体も困惑している。③市営住宅に空きが出た場合優先的に利用できる条例改正をした。

食育基本計画制定

質問 食育基本法では、知

育・徳育・体育の大前提が食育であると定着づけられている。

本市の食のまちづくりの推進計画も評価を受けているが、①更に食育の基本計画が必要ではないか。②学校教育に栄養教諭の配置を。

答弁 政策経営部長

国・県の基本計画は数値目標がかかげられている(朝食欠食を22年度までになくす等)。これらを参考に伊万里にふさわしい数値目標をかかげた基本計画を来年度には作りたい。②栄養教諭の配置については、県は18年度にモデル的配置したい方針なので伊万里として強く要望をしている。

講演会出席に名簿提出

質問 名簿提出の必要は何か。

答弁 教育部長

名簿提出はとりやめる。

ファミリパークと黒澤明記念館建設計画について

渡邊 英洋

質問 ファミリパークが今年4月に一部開園したが今後の施設整備計画はどう取り組むのか。又、黒澤明記念館建設計画についても、姿が見えないがその進捗状況は。

答弁 市長 建設部長 政策経営部長

ファミリパークの今後の計画については、まず市民記念樹の森を整備し、市民の方に利用していただきたい。又、市民の皆様の要望が高い釣り場の整備については、防波堤を利用した整備を考えている。諸整備についてもあまり全てをかせずにやって行きたい。又、温浴施設についても民間企業に打診中である。

黒澤明記念館建設計画については、国内外で寄付金募集を行なっており、8月末現在で5億1095万円

が集まっており、おおむねの用途が立ちつつある。シートフィルムコンベも大変好調である。

現在は、大手広告代理店など数社を交え、記念館建設後に運営の柱となるソフト事業の計画を策定中であり、この策定が終り事業計画が固まり次第、担当者が議会に出向き説明があると思われる。

10月7、8日の黒澤映画祭には、社長、担当常務が来伊されるので、直接お会いをしてじっくり話をしてみたいと思う。

とにかく、市としては黒澤明文化振興財団による計画の進行を今、しばらく見守りたい。

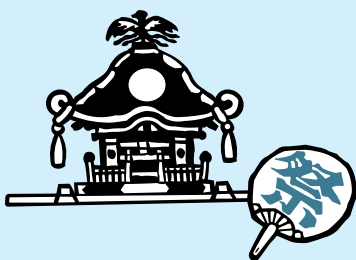


お知らせ

供日が近づいて参りましたが、公職選挙法の規定により、市長・議員は選挙区内の人に対して、酒食等を提供することは出来ません。

また、年賀状などの時候のご挨拶状も、頂いた賀状に対して表裏とも自筆で書いたもの以外は禁止されています。国会議員・県会議員も同様です。

皆様のご理解をお願い申し上げます。



市議会議員研修会

年に一度、佐賀県市議会議長会主催の議員研修会が各市持ち回りで開かれます。今年は8月18日、鹿島市生涯学習センターを会場に、10市の議員が集合しました。

あいにく台風が接近する中ではありましたが、田中危機管理・広報事務所所長の田中正博氏が、「自治体における危機管理のあり方」市会議員としての必須心得」の演題で講演されました。危機管理への姿勢がほんの少し違っただけで、大きく異なる結果となった最近の具体的な事例を引き合いに出しながら、これからの危機管理のあり方について学ぶことができました。

講演の中でお話があった「危機管理のための7つの行動指針」を紹介しましょう。

①いつも「誰かが見ている」「誰かに見られている」という気持ちで仕事をしよう…この意識があれば、

違法行為や社会から批判される行為はなくなる

②常に「ちょっと変だな」「本当に大丈夫かな」という意識をもって仕事をしよう…この意識があれば、「危機の芽」は初期にキャッチでき、摘み取れる

③1つのクレームの背後には100件の同じクレームがあることを認識しよう…この意識があれば、市民からのクレームリスクは避けられる

④法的問題だけでなく、社会的道義的責任から判断しよう…「法的に問題ない」「手続き上問題はない」「では納得されない時代。問われるのは、市

民・住民・納税者への配慮の有無と常識だ

⑤「おかしいと思ったこと」は「おかしい」と問いた

だそう…「三猿主義」を排除し、自ら「筋論クレーマー（それはおかしいではないか?という視点から、疑問・質問・異議・抗議を申し立てる市民）」になろう

⑥違反、違法行為はいつか必ず発覚すると知ろう…「内部告発」で通用しない時代に

⑦それをマスコミが知っても問題にならないか、自問しよう…記者が納得できないことを社会が納得するはずがない

また、危機発生時に必要な3つのキーワードは
・スピード（迅速な意思決定と行動）
・疑惑を生まない迅速な情報開示（情報の小出しはするな）
・社会の視点からの判断（役所の論理からの判断は要注意）

であるとして、お話のまとめをされました。



来賓あいさつ 桑原市長



なし万理くん・梨里ちゃんと一緒に



伊万里牛バーベキュー 「うまか〜」

編集後記

愛読者の方から匿名のお手紙を頂きました。すぐに取り組めない事もあり、理由を説明したいもののお返事できずに残念です。

毎号、掲載の写真の多くを市役所広報係から拝借しています。今回は多くの人出で賑わった「伊万里フェス」特集となりました。

◎盛 泰子、○樋渡雅純、山田 悟、前田久年、前田儀三郎
(顧問)島田布弘、原口弘

発行

伊万里市議会
伊万里市立花町二三五―一
☎0955-1231-2111
☎0955-1221-1277
E-mail: gikai@city.inari.jp

編集

市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社

